

◆【全国発信記事】北海道地方支部

「学び舎・船と船員さん教室」開催

— 北海道・小樽市立稲穂小学校 —

船と船員職業の魅力を伝える — 小学5年生児童63人が参加 —

北海道地方支部は、7月16日、小樽市立稲穂小学校において、出前授業「学び舎・船と船員さん教室」を開催した。この授業には稲穂小学校の5年生の児童63人(男子31人・女子32人)が参加した。

出前授業は、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底したうえで実施され、現役船員である職場委員の協力をおおぎ、日本の将来を担う子どもたちが船や船員について興味を抱き、ひとりでも多くの子どもたちに船員職業を志して貰いたいという趣旨で北海道地方支部が一丸となって取り組んだ。

今日は、社会における船と船員の役割や、仕事の内容などを紹介・説明することで、船員職業の重要性を学んでもらうカリキュラムだ。

出前授業は、開会式の後、2班のカリキュラム「ロープワーク教室」「船員さんのお話教室」に分かれてスタートした。

「ロープワーク教室」は、実際に船で使われる結び方や日常生活で役立つ結び方「本結び・巻き結び・もやい結び」などを体験、学習した。

児童たちは初めてのロープ結びに戸惑う場面もあったが、結び方を覚えると喜びの声をあげた。

理科室に移動しておこなわれた「船員さんのお話教室」は、スケッチブックに描いたイラストや資料を使い、海や船に関すること、船員の仕事などを幅広く紹介、クイズ形式なども取り入れ説明した。

それぞれの体験授業を終え、全員で学びの総まとめをして船や船員に関するクイズ大会を行うと、児童たちは、元気な挙手で回答し、学びの成果を披露した。

授業が終了すると、児童代表から「多くの船の種類を知ることができました。ロープの結び方も覚えることができ良かったです。今日教わったことを今後の生活、勉強に役立てたいです。本日は私たちのために授業を開いてくれてありがとうございました」とお礼のあいさつが述べられた。

その後、記念撮影と記念品配布が行われ「学び舎・船と船員さん教室」は終了した。

「海員だより」